



新年 謹賀

新春を迎えて

あけましておめでとうございます。

北九州市も発足以来、今年で二十五年目を迎えますが、この間、多くの問題を解決しながら百万都市にふさわしい活力ある緑豊かなまちづくりが着実にすすめられてまいりましたことは、誠に喜ばしい限りであります。

これも、ひとえに市民の皆様方のあたたかいご支援とご協力のたまものと、心から感謝申し上げます。

近年、地方自治体を取りまく情勢は依然として厳しく、また、円高問題や行財政改革、さらには税制改革などの行方は、今後の市政運営にきわめて大きな影響を及ぼしてくることは避けられない状況にあります。

市議会といたしましても、これらの諸問題の今後の動向に深い関心を寄せているところであり、議員一同さらに心を引きしめ、市民福祉の向上と市勢発展のために今後とも一層の努力をする決意でございます。

本年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

元旦

北九州市議会

議長 浜田 順治

副議長 大坪 郁夫

補正予算など25件を可決

決まった主なもの

市長提出

◎六十二年度各会計補正予算



補正予算の概要

区分	補正前の額	補正額(増額)	補正後の額
一般会計	3,612億6,208万円	23億 18万円	3,635億6,226万円
普通特別会計	2,668億9,039万円	54億5,988万円	2,723億5,027万円
企業会計	1,071億8,521万円	1,380万円	1,071億9,901万円
合計	7,353億3,768万円	77億7,386万円	7,431億1,154万円

◎土地の取得

小倉北区山田町に所在する国有地(山田弾薬庫跡地の一部)を山田緑地用地として買い入れるもの
面積 四万五、八五五・四八平方メートル

予定金額

二億三、九〇〇万円

◎北九州市都市公園、霊園及び駐車場等の設置及び管理に関する条例の一部改正
志井ファミリトレイヌ(迷路)の新設に伴い、使用料を設定するもの

◎北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
高生中学校、美術館アネックス市民ギャラリーの新設等に伴うもの

◎北九州市市税条例の一部改正
徴税事務の適正化を図るため、固定資産税及び都市計画税に係る第三納期の「十二月十七日から同月三十一日まで」を「十二月十七日から同月二十八日まで」に変更するもの

◎北九州市社会福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
山崎集会所の移転に伴うもの
◎改修新門司橋梁(二号)上部工事申請契約の一部変更
契約金額を変更するもの
変更前 五億三、四〇〇万円
変更後 五億四、三六三万円

◎北九州市産業観光施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
商工貿易会館展示ホールの事務室への転用等に伴い、使用料等を改めるもの

◎市道路線の認定、変更及び廃止
市道路線の整備を図るため、路線の認定、変更及び廃止を行うもの

◎北九州市職員の給与に関する条例の一部改正
北九州市人事委員会の勧告に基づいて、職員の給料、扶養手当等の改定を行うもの

◎北九州市高速鉄道等整備基金条例の一部改正
鹿児島本線の西小倉駅停車等、都市機能の整備に係る財政需要に対処するため、対象事業の拡大等を図るもの

◎町及び字の区域及び名称の変更
門司区、小倉南区、八幡西区の一部について住居表示を実施するため、町及び字の区域及び名称を変更するもの

議員提出

◎雇用対策に関する意見書

人事紹介

十二月定例会において、次のかたがたが決まりました。(敬称略)

人権擁護委員候補者

中野 昌治 辻 正喜

井上 重人 村上 義孝

島田マツ子 神塚 正喜

原田 信子

北九州市土地利用審査会委員

永松 達男 加藤 一生

山岡 誠 出光 隆

松尾 弘太 丸山 桂子

榎本 隆一

昭和六十一年十二月北九州市議会定例会を十二月八日から十二日までの五日間の会期で開きました。
今議会に市長から提出された議案は、専決処分の報告議案二件、条例議案七件、六十一年度補正予算議案九件、人事議案二件、その他の議案四件の合計二十四件でした。
これらの議案については、本会議において、質疑を行った後、それぞれ所管の常任委員会に付託し、慎重に審査しました。
その結果、これらの議案すべてを、十二月十二日の本会議で可決しました。
一方、議員から提出された議案は五件で、そのうち一件を可決し、四件を否決しました。



質疑応答

本会議で十人の議員が、市長から提出された議案に対する質疑や、市政全般についての質問を行いました。
その中から主なものを取り上げました。

市政執行二十年の印象は

議員 市長は、就任以来、市民本位の市政をモットーに、二十二年間市民福祉の向上と市勢の拡充をめざしてきました。

本市の今日の姿と就任当時の状況を比較した場合、隔世の感があると思います。

市長在任二十年を振り返ったなかで、市政の諸施策について、どのように評価していますか。

また、この間、特にどのようなことが印象に残っていますか。

市長 皆様のご助力により、今日まで市政を担当させていただいたことを、心から感謝しています。市政執行二十年の評価については、市民の判断にお任せしたいと思っておりますし、これは長い時間を経て初めて決まることだと考えています。

ただ、全国的にも注目されていることは、今、話題となっている行政改革にいち早く取り組んだことです。その結果、社会資本の建設や生活環境の整備あるいは福祉の向上のための施策を急速にすすめることができました。

特に印象に残ったことは、新市庁舎の完成、準市外扱いであった市内電話料金の統一、産業医科大学の誘致、洞海湾の浄化、身体障害者福祉モデル都市宣言、緑の都市賞総理大臣賞受賞、山田弾薬庫跡地の払い下げ、モノレールの開通、大連市との友好都市締結、日本建築学会建築文化賞受賞等です。

いづれも、皆様のご支援がなければできなかったことだと思っております。

北九州市に本社を

九州旅客鉄道株

議員 本市は、明治以来、九州における鉄道の要衝として、国鉄と共に生きてきました。

分割・民営化に伴う九州旅客鉄道株式会社の本社を本市に誘致することは、市の最重要課題であり、市民の関心も高くなっています。この問題について、どのように考えていますか。

市長 新会社の営業部門を他都市にという話もありますが、鉄道は列車を動かすこと自体が販売行為であり、営業行為なのです。この列車を動かす中枢部門は本市にあり、これと遊離して、鉄道の運営ができるはずはありません。先日、新会社の設立委員に任命された鹿児島県知事に会い、新会社の本社を本市に設置するように陳情を行いました。これに対して、十分な理解をいただいていたと思っています。

特色のある学校づくりを

議員 六十二年四月開校予定の守恒中学校において、漫画家の松本零士氏のレリーフを取り入れたユニークな学校づくりが行われています。

今後とも、ゆとりと特色のある学校づくりをすすめていく必要があると思えますが、どのように考えていますか。

市長 就任当時、小、中学校は危険校舎、老朽校舎が多く、不燃化率は、いづれも五十パーセント以下でした。

この状況を早急に改善するため、建て替えを推進してきました。その結果、不燃化率は、百パーセント近くに達しましたが、標準的な設計を用いたため個性に欠けるものとなりました。

したがって、建て替えの機会には、それぞれの土地柄にあったユニークな設計が必要であると考えています。そのため、守恒中学校については、変わったデザインを取り入れました。このデザインに対する市民の反

応等を十分に確かめて、今後、特色のある学校づくりに努めていきたいと考えています。

障害者の雇用の確保と拡大を

議員 障害者が豊かで安定した生活を送るためには、雇用の確保と拡大は欠くことができません。

六十一年は、国際障害者年の中間年に当たりますが、障害者の雇用の確保と拡大のために、どのような対策を講じていますか。

民生局長 障害者が、その能力と適性に応じた職業に就き、障害のない人と共に社会経済生活に参加することは、障害者の自立を促進するうえで最も重要な課題です。

このため、公共職業安定所等の関係機関と密接な連携をとり、障害者の雇用促進に努めています。具体的には、事業主で構成する精神薄弱者職親協議会等の運営に対する助成や障害者福祉会館に相談員を配置し、就職相談などを行っています。

特に、障害の種類、程度等により、企業に就職することが困難な障害者については、授産施設等で訓練、指導を行い、障害者の就職の促進や自立を図っています。今後とも、事業主に対する啓発を精力的に行い、障害者の雇用を要請していききたいと考えています。

開港目標は六十年代後半

新北九州空港

議員 新北九州空港は、先の閣議決定により第五次空港整備五年計画に採択されました。

これに伴い、新北九州空港計画は、より現実的なものとして、市民の期待が大きくなっています。新北九州空港計画において、開港目標を六十年代後半に設定した根拠はどのようなものですか。

市長 開港目標を六十年代後半に設定したのは、国際民間航空機関が、曲線進入方式の利用を六十五年以降に増加させる方針を打ち出し、空域調整の問題が解決可能となる見込みがあるためです。

また、国が整備を急いでいる羽田空港の沖合展開、関西国際空港等の完成により、空港整備特別会計に余裕ができるためです。新北空港建設は、解決しなければならぬ問題が多く残されていますが、地域発展の鍵であるという認識のもとに、早期着工に向けて、努力していききたいと考えています。



新北九州空港完成予想図

今後の対策は

—年長者福祉—

議員 人生八十年時代の到来や情報化社会の進展等に伴い、福祉施策においても市民のニーズの変化を的確に把握し、真に市民の必要とする福祉施策を展開することが強く求められています。

高齢化社会に向けて、今後の年長者福祉対策をどのように考えていますか。

市長 今後の年長者福祉対策は、年長者が長年にわたる家族、友人等との人間関係を保持しながら、地域社会のなかで、安心して生活できるようにするという考え方を基本にしていく必要があると思います。



年長者研修大学校「周望学舎」

現在の年長者に対する福祉施策は、低所得者を対象として発足したものですが、今後は、年長者が所得に応じた負担をして、必要なサービスを受けるといふ応能応益の原則に基づくシステムへ、徐々に転換していかねければならないと考えています。

本市では、高齢化に伴う諸問題について、高齢化社会研究チームで調査、研究を行っています。近く、この研究結果を学識経験者等で構成する社会福祉審議会に諮問する予定です。

その答申を今後の高齢化社会の施策の指針としたいと思えます。

市の将来の

あるべき姿は

議員 本市は、この二十年間で公害のまちから、緑豊かな生活環境をもつ文化あふれるまちに変ばうしました。

特に、医療体制、スポーツ・教育施設、福祉、水資源、下水道、公園等の行政水準は非常に向上し、指定都市のなかでも高いものとなっております。

しかし、高齢化社会への急速な進展等により、行政に対する市民のニーズは、さらに高度なものとなっております。

本市の将来あるべき姿について、考えをお聞かせください。

市長 都市のイメージをつくるうえで、都市の景観は、非常に大きな力があると考え、本市の景観を良くすることに特に努力してきました。

今後の新しいまちづくりの方向

としては、まちをもう少し新たなソフトなイメージにしていこうことが必要です。

そのためには、情報、レジャー等に十分目を向けていかなければならないと考えています。

特に、最近いわれているように女性や青年の感性を取り入れて、それにマッチするようなまちづくりを実施しなければなりません。

このことが、情報、レジャー等の第三次産業の誘致にもつながると強く感じています。

要は、市民、行政、企業が一体となって、北九州市の未来を切り開いていかなければならないと考えています。

ダイヤ等の改善を

—市営バス—

議員 このたびの折尾駅前整備に伴い、市民は市営バスの路線新設、運行本数の改善、充実などを切実に要求しています。

市営バスの経営の改善、充実について、今後の計画をおたずねします。

交通局長 市営バスの路線区域内においては、若松区と八幡西区の西部方面に大規模団地等が整備され、かなりの人口が集中しています。

このことに対応して、現在、八幡西区の向田地区に営業所を建設しています。

これが完成すると、現在の折尾営業所を向田地区に移し、この地区を中心に新しい経営計画をたてる考えです。

バスの路線変更や新設等について



折尾駅前

市圏の吸引力強化に努めれば、経済浮揚は可能であるとの提言がなされた」と報道されています。

この提言について、どのように考えていますか。

企画局長 九州経済調査協会の提言は、本市が現在すすめているさわやか北九州プランのまちづくりの方向と合致しており、評価しています。

具体的には、産業構造の面では、高付加価値産業の育成、誘致や中小企業の技術開発力の強化などを図り、都市機能の面では、都心部の再開発などをすすめています。

また、民間においても、企業独自の研究開発部門の強化や八幡西区曲里地区での再開発等が計画され、経済活性化に向けての努力がなされています。

今後とも、北九州地域経済の活性化のための施策の推進を重要な課題として、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

北九州市民憲章

緑を豊かに

清潔で美しいまちにします

きまりを守り

安全なまちにします

人を大切に

ふれあいの輪をひろげます

元気で働き

明るい家庭をつくります

学ぶ楽しさを深め

文化のかおるまちにします